

こんにちは。
やる気プロデューサーの上田洋輔です。
無料レポートのダウンロードありがとうございます！

あなたは、きちんと「ありがとう」と言えていますか？

人に褒めてもらった時に
「すいません」という人と
「ありがとう」という人がいます。

あなたは、どちらの返事をする人に
もっと何かをしてあげようと思いますか。

私なら「ありがとう」という人の方が
もっと何かをしてあげたくくなります。

これは、おそらく「すいません」という言葉が
遠慮からくるものなので、
こちら相手にも気を使わなければと
思ってしまうことが原因だと思います。

もしも、普段のあなたが、
遠慮からきている「すいません」を使っているのであれば、
大変もったいない人生を送っている事になるのです。

しかし、日本人の美学に遠慮と謙遜という言葉もあります。

相手からの褒め言葉も遠慮と謙遜を巧みに使い、
褒め言葉を言ってくれた相手にたいして
「気を使って頂いてすいません」の言葉が出てくるのです。

もちろん、そのような文化や風習もあるでしょう。

しかし、大げさに喜んで「ありがとう」ということも
出来るのではないのでしょうか。

少なくとも、文化や風習で言ってくれたとしても、

褒め言葉を言うのって、
決して簡単な事ではないと思いますし、
見え透いた褒め言葉であったとしても、
その場でいきなり言うのって
かなり大変ではないでしょうか。

ですので、あなたを褒めてくれた人は、
かなり頑張ってあなたに褒め言葉を
伝える事が出来たのです。

その相手への感謝が「すみません」では、
相手の頑張りをあまり認めることができず、
自分の事しか考えていないような気がします。

もっと、大きな感謝をして良いのではないのでしょうか。

言ってくれた相手に対してもっと全力で喜びを表しましょう。

あなたも頑張って褒め言葉を言って
相手が本気で喜んでくれたら嬉しくなりますよね。
ですので、あなたが大きく喜んだ方が相手はもっと喜ぶでしょう。

謙遜と遠慮も良いことかもしれませんが、
相手に喜んでもらえる行動をする方が
ただの社交辞令よりも良いのではないのでしょうか。

「私の喜びそうなところを見つけてくれてありがとう！」と考えた方が、
仮に相手からの社交辞令であったとしても、
言ってくれた相手を喜ばせる事ができます。

褒め言葉を言って、あなたを喜ばせようとした人は、
あなたの行動一つで、「褒めてよかった！」と
思う事もできるのです。

こう考える事ができれば、褒めた方も褒められた方も
両方とも気分が良くなります。

「嫌味からの褒め言葉もある！」と答える人もいますが、それでも全力で喜んでみましょう。

プラスの発想しかしない人に対しては、嫌味など言えなくなるものなのです。

要するに、「嫌味で言った事なのに、相手が喜んだ」となるわけですから、嫌味を言った方は、相手を喜ばせてしまった事に腹を立ててしまいます。

これが何度か続くと、相手は嫌味で褒める行動は絶対にとる事ができなくなるからです。

つまり、あなたに嫌味を言うたびに自分の方が気分が悪くなるのであなたに嫌味を言えなくなります。

そうなると、嫌味を言う人が減り、嫌味ではなく素直にあなたを褒めてくれる人が増えていくのです。

素晴らしいプラスの回転ですよ。

まずは、どんな事でも、「ありがとう！」と言える様に自分を成長させていきましょう！

それでは、第1の課題です。
すいませんという言葉が、非常にあいまいなので、今回のような話をさせていただきました。

まずは、「すいません」という言葉をやめてしましましょう」

「謝るならごめんなさい。喜ぶならありがとう」と考えると褒めてくれた人に、ごめんなさいとは言えないのでありがとうと言うようになります。

第1の課題

「すいませんと言わないようにする」

さて、褒められる時は、「ありがとう」で返す事は
お話ししたので、あなたも褒められ上手になったと思います。

今度はあなたから
相手を褒める事を考えてみましょう。

基本的に、褒めるのがうまい人って
かなり少ないのです。

なぜかと言いますと、
上手に褒められることができない人は、
上手に褒める事ができないのです。

つまり、上手に褒め言葉を受け取れない人と言うのは、
相手が言っていることを素直に喜べなかったり、
社交辞令で返事をしてしまったりするので、
褒められるのがうまくなりません。

褒められるのがうまくならなないと、
相手を褒める方法が分からないのです。

ですので、褒められるのが下手な人は
褒めるのも下手なのです。

しかし、あなたは、褒められた時に
「ありがとう」というほうが良いと言うことを覚えました。

つまり、褒められ方がうまくなったのです。

という事は、褒めるのが
うまくなったと別の言い方をすることができます。

では、意気揚々と、人を褒めてみましょう。

実際に人を褒めてみると、
思ったよりも相手の反応が薄い事が
多々ありますよね？

ま、これは、相手が褒められ下手ですから仕方のない事です。

そして、多くの人が褒められ下手ですので、
あなたが褒めても満足するアクションをしてくれる人は少ないでしょう。

しかし、相手が褒められ下手でもどんどん褒めてください。

あなたも自分の事で考えてみて欲しいのですが、
誰かにいきなり褒められた時は
一瞬、戸惑うのでうまく返事が
できないのではないのでしょうか。

そして、何か別のことをしているときに
褒められたことを思い出して喜ぶのです。

このように、褒められることに慣れていないと
とっさに反応ができずにすこし考える必要があるのです。

ですので、あなたが今褒めた事の結果は、
翌日以降になることを覚えておきましょう。

そうすれば相手からのリアクションが
薄くても気にしなくなるはずです。

喜びの反応を見るために時間がかかりますが、
相手は大なり小なりの必ず反応を返してくるので
遠慮なく周りの人を褒めまくりましょう！

ここでの問題は、コチラが褒めた事を
相手が嫌味だと判断してしまった場合は厄介です。

こちらも同じで時間差でじわじわと効いてくるのです。
そして、時間の経過と共に相手が怒り出します。

せっかく褒めたのにこれでは悲しい結果ですよ。

世の中には変わった人もいて、
基本的に褒められた事は、
全て嫌味だと考えてしまうくらいの
天邪鬼もいるので要注意です。

そのような天邪鬼は褒めない方が良いと言いたいところですが、
天邪鬼さんに出会う確立はかなり高いので、
そのような人でも、上手に褒めることができれば、
さらにレベルの高い褒め上手になれるのです。

では、どの様にして褒めるといいのか説明します。

人は誰でも、憧れの人やこうなりたいという願望があります。
そして、それは会話の中に自然と出てきます。

好意を抱いている人の事を話すのに
あえてマイナス話ばかりする人はほとんどいません。

ですので、基本的に、天邪鬼であったとしても、
会話の中で、本人がいない時に褒めている事は、
すべて自分が好意を持っている事になるのです。

そして、人は好意を持っている人に似ようとします。

ですので、会話の中から誰に好意があるのかわかったら、
どうして、その部分に憧れるのかを聞き出してみましょう。

相手の憧れの部分を知ることができれば勝ったも同然です。

その真似している部分を褒めてあげるのです。

この褒め方は絶対相手に響きますし、
それで、相手が否定してきても全力で褒め続けてください。

「私は、〇〇をすごい、いいと思う」と
褒めたことを絶対に曲げない気持ちで
褒め続けければ、相手の心に必ず残ります。

そして、また時間差で喜びを
あなたに伝えてくるようになるでしょう。

ですので、相手がどうであれ、
あなたの心遣い一つで褒める事ができるようになるのです。

どんな人でも、自分を褒めてくれる人には好意を持ちます。

こんな簡単な事を行なうだけで、
あなたに好意を持ってくれる人がたくさん増えるのです。

自分がされたい事は他人にしてあげましょう。

あなたが褒める事で、
みんなが楽しい気持ちになるのであれば、
どんどん褒めまくりましょう！

みんなが笑顔であなたに話しかけてくるようになります。
それはとてもうれしい体験ですよ。

それでは第2の課題です。

毎日最低でも3人の人を褒めてください。

そして、その人が一生懸命考えて言ってくる
褒め言葉を上手に受け取りましょう。

第2の課題

「毎日、最低でも3人は褒める」

ここまで、お読みいただきありがとうございます。

このレポートは「やる気が出るブログ」で更新している内容をリメイクしたものです。

もしも、最新の記事を読みたい場合は、http://blog.livedoor.jp/yaruki_consul/へアクセス下さい。

また、「やる気が出るブログ」では、書ききれない内容をメルマガ「いつでもやる気がいっぱい！（<http://www.real-action.jp/maga.html>）」にて発行しています。あわせてメルマガもご覧下さい。きっとあなたのやる気をもっと出る内容になっています。

最後までお読みいただき、心より感謝いたします！

やる気プロデューサー
上田 洋輔

-
- ホームページ：<http://www.real-action.jp/>
 - E-Mail：info@real-action.jp
 - Blog：http://blog.livedoor.jp/yaruki_consul/
 - 週間メルマガ：<http://www.real-action.jp/maga.html>
 - 日刊メルマガ：<http://www.mag2.com/m/0000275360.html>
 - 携帯メルマガ：<http://mini.mag2.com/pc/m/M0088253.html>

メールまたはホームページ（<http://www.real-action.jp/mail.html>）にてお読みになられた感想をいただけると幸いです。

無断転載・複製・転売を禁ず